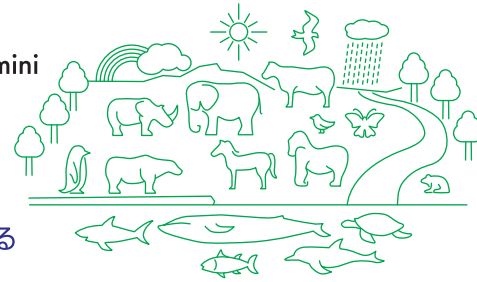




ネイチャーポジティブとは・・・

- 生物多様性の損失を食い止め、自然を回復軌道に乗せることを指す
- COP15(2022)昆明・モントリオール生物多様性枠組で提唱
- 実行目標「30by30」
- 2030年までに陸と海のそれぞれ30%以上を健全な生態系として保全する

※Ai Gemini



生物多様性とは・・・

- 生物多様性とは地球上の豊かな生命の個性である。
- 生態系を保ち、衣食住の資源や気候の安定など生活の基盤を支えている

自然の保護と安全

保護:人間の影響を排除し、自然をそのまま残すこと

保全:持続的に利用しつつ自然環境を望ましい状態に管理すること

おそよ50年前は風除けとして松を育てていましたが、貴重な生態系をもとの植物の状態に戻すため、ゴミ拾いしながら実生松の除去をし、自然環境保全につなげていきます。



毒性植物には触らないように!



ドクウツギ



ツタウルシ

この辺一体には約85種類もの植物が!!



ハイネズ



ハイメドハギ



ハチジョウマ



雲南

60~70年位前は
この辺一体芝生と砂浜でした!!



クロマツをなぜ駆除するのか・・・

クロマツは、もともと種差には分布しない。クロマツは葉から他植物の発芽や成長を拒む物質を分泌し、下草の生育を抑制する。これが林床の植生変化を遅らせ生態系に影響を与える。



実生末

実生末はタネが飛んできてそのタネから芽生えたもの。根の周りには白いクズのようなものがついてます。松と共生している「菌根」というものです。



菌根とは・・・

きのこの本体は土の中の「菌根」。菌根は自然の中で一番多く、森の主役はきのこ。人類もきのこの仲間がお腹の中にすんでいて、免疫を助けてくれています。菌類は大きく分けて2種類ですが多細胞と単細胞になっているものがあります。きのこは、実は地球の主役かもしれませんね。



実生末を抜き、観察しながら進んでいきますよ!!

環境によって植物の生育状況は変化し、どのような植物がどのような場所で育つのか決まってきました。しかし、植物が環境を作る、ということもあります。そのことが分かるのが、皆さんが今立っているこの場所。この場所は海の方と比べて高くなっていますが、以前は同じ高さでした。ある植物が砂を止めて現在の高さになりました。その植物がコウボウムギ。その根が砂を止め、砂の間からまた生え、また砂を止め、を繰り返し砂浜はこの高さまでになりました。環境を自分自身で変えているのです。



コウボウムギ



自分なりに名前をつけたり仮説をたてるのが大事なんですよ!!

右の植物の穂先は二つに割れます!!鴨鳥のくちばしにみたて名付けられたのが「カモノハシ」。毛が多いものと少ないものがありますがこれは毛が多いため「ケカモノハシ」といいます!!



皆さんを歓迎しているかのようにウンランの花がたくさん咲いていました!!

浜の方へ進むと植物の種類にも変化が出てきました!!

ウンラン

セリ科の仲間。独特の香りとほろ苦さがあり、刺身のツマや茹でて食べると美味しいですよ!!



ハマボウフウ

こんもりとした森を見ても隣同士の本が近づいています。森の中に風が入り込んで乾燥し、根が乾かないように集まって暮らしているのです。

植物は環境に合わせてカタチを変化させたりしますが環境自体を変えて暮らしている数少ない植物がコウボウムギなのです。

土手の上には以前クロマツが生えていましたが、東日本大震災の津波によって菌根がなくなり、クロマツは枯れてしまいました。菌根は森林生態系を支える重要な菌であることもわかりますね!



ハマニガナの根がどこまで繋がっているか掘ってみよう!!



茎が砂の中を長く伸ばして、葉と花だけが砂上に並びます。



何メートルつながるかな?



ハマヒルガオはハマニガナと同じく横に長く伸びます!!



ずっと長く横に繋がっています!!

ひっぱらないで優しくね!!

ちょっと掘ってみると隣のハマニガナと繋がっています!!

どちらからどちらに伸びているのかよく見てみよう!!

よく見ると葉がついているところの下に小さな根が付いていますね!!

掘って気づいたこと

1. 根を横に伸ばして行き、上に葉を出している
2. 白い根のそばの砂は湿っている

↓
根は水分があるところまで伸ばしている
砂に埋もれてしまうため新しく葉を出し花を咲かせている



氏名	久保 穰士		学校名	小中野中学校	
学年	1年	年齢	12才	性別	男・女

(考) スツトにとってキムコトは人間の月島にいるバクテリアのような役割をしていて、何かを分解して暮らしている？

氏名	小村 愛実		学校名	八戸聖ウルスラ学院	
学年	中2	年齢	14才	性別	男・ <u>(2)</u>

[illegible]

令和8年9月6日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※ぎもんやふしぎに思ったことを自由にかいてみよう

氏名	新島 彩穂	学校名	八戸市立東中学校
学年	3	年齢	15才
性別	男・女		

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画 『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

バス停前 岩礁帯

- ・数個の岩が赤くなっていた。サビ? 岩に貝のような白いものがついていて
- ・手前にゴツゴツした他より黒っぽい岩→火山噴出物?
- ・岩に線が走っているのはなぜ? ・大きめの丸い岩もあった。

大須賀 ①ハイネズ 地面に生える松。日が当たる所に枝をのびしている。

似ている植物 種はブルーベリーのように色付いていた。

・ハイバクシン→岩壁に生る(?)なんでブルーベリーのような青にするの?
高山植物の一種

①ハマナス バラ科の植物 実→ 種 直径3mm 程
本来はリンゴのような→ 味 甘い 黄色で、形は
味だそう 甘味? 十数個は入っていた

②ミョウマツ 皮を見た時に、落したのもふくめた
枝の数でだいたい年齢が分かる
同じバラ科でも、形、種子
の数など、たくさん違いが
あるのはなぜ?

・松は「マコノ」と共生し、これがないと生きられない

③ドクウツギ 強い毒があり、葉を2,3枚食べると最悪死に至る
④普通の地図の時、分布が波のような形。地球儀にすると、
このことから、赤道がずれたとわかる。→地球もずれている 赤道
植物の分布によって、地球の、宇宙のことが分かる!!

⑤ケカモ/ハシ 種が2つに割れた
様子がクマバシのようだから。ケは
もかほえてるから。
→名前を予想してみる事が大事!!

⑥ハマニガサ 根がとても長く続いている。
根をほると周りがしめっている→水分があるとこ
ろに根をのびしている。

⑦ハマダイコン 根をほっていたら出てきた。
大きさは12cmくらい 臭い大根 (断面)

まとめ 植物を見るだけで何個も なかなかおれない 中心と周りで
新しいことが分かった。 分かれていた。
植物が環境を作るという言葉がよく分かる気がする。
あたりまえのことにどれだけ「不思議」を見つけられるのかかかだと思った。

令和8年9月6日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※ぎもんやふしぎに思ったことを自由にかいてみよう

氏名	大坪 真	学校名	種市高校
学年	1	年齢	15才
性別	男・女		

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画 『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

〔年間4〜5回に1回おこなわれている。〕
火山灰が岩壁に植生している。

なぜ松が岩壁に生えている?

植物が死んでいないで、死んでいない

鳴き声はなぜ音がするの?

普段見ている景色でも植物が死んでいないと気づいた。

2つと3つにコノハクに共生関係になる植物が分かった。

トナリツバキではなく、五葉松が岩壁に生えていると気づいた。

松という一つの種類のものに、いろいろな植生が、生えていることに気づいた。

スミレで調べたところ、和歌山に生える(ナリ、休養地)ことで気づいた。

おもしろいと思いました。

令和8年9月6日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※ぎもんやふしぎに思ったことを自由にかいてみよう

氏名	小島 蓮花	学校名	八戸水産高等学校
学年	1	年齢	15才
性別	男・女		

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画
『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

毒があるやつ

・つたうるし - 液体が付着するとかぶれる。

7か7かした3枚の葉が特徴。赤っぽい。

・どくろっき - 葉を2~3枚食べると2日くらい苦い。

松について。

なぜ板き取る? → 元の植生にもどすため。(種がとんで増えた)

(きのこたち)
松は菌根菌と共生している。

→ 震災・津波で菌根が死ぬ・松が死ぬ → 現在、減ってます。

感想

知らない植物や、松についてなどたくさん知ることができてとても充実していた。生物の多様性を守るためにできることをしたいと思った。植生を知ることによって発見できることがたくさんあった。次回は、疑問から発見につながられるように頑張りたい。

知った植物 ・どくろっき ・つたうるし

・コウボウムギ (砂を止めている) ・かきらよもぎ ・ハマウツボ ・ハイネズ

・ハマダイコン (ニンジンのようにおいしい) ・ハマニガナ ・ハクジョウナ (たまごのよう)

アリジゴク

バックシカでまわる

きのこは地球の
主役?

令和8年9月6日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※ぎもんやふしぎに思ったことを自由にかいてみよう

氏名	藤原由理	学校名	種子島高校
学年	1k	年齢	16才
性別	男・女		

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 9月企画
『三陸ジオパーク大研究(巡検)』

○クロマシを実際とってみましたが、10cm~15cm程で3年程成長するのにかかるということを知りました。

↓ 昔は無かったが、今増えている(昔は風おけとして使われていた。)

今日見つけた植物

・ハマニガナ(長いような物でつながっている)

① シタウリス(赤い葉が3枚ある。触るとかぶれてしまう...)

② ドクろっき(赤い実がでる。)

・ハクジョウナ(この植物のおかげで昔、赤潮がでていると分かった。)

・イソヨウマシ(種を散らし増え、10cm~20cmほど大きくなる)

・砂浜はとてつとて形も量も変わると知った

(感想) 海浜植物は少し見ただけでも何百種類もあると知った。